

4月の政治・経済イベント

重要 01 米国の景気加速の兆候

米国では大型財政刺激策の発動や新型コロナウイルス・ワクチン接種の進展により景気加速気運が高まっています。ただ、2月には寒波の影響で小売売上高などが減少しており、3月以降の経済指標で景気加速が確認できるかが注目されます。金融政策に大きな変更は無さそうですが、景気加速が確認され、長期金利に上昇圧力が増した場合の対応が注目されます。IMF世界経済見通しでは米国と他国の景気格差の拡大が示されそうです。

重要 02 日欧の新型コロナウイルス感染とワクチン接種の状況

日欧では足元で新型コロナウイルス感染が下げ止まりないし再拡大する傾向が見られる一方、ワクチン接種の遅れも問題となっています。感染がさらに拡大すると、米国などに比べて経済の正常化が遅れる懸念が高まる一方、政府への不満が増す可能性もあります。今年は国政選挙を控える国もあり、各国の政治動向にも注意が必要です。

重要 03 新興国の政治・経済情勢

トルコで中央銀行総裁更迭をきっかけに通貨や株式が一時急落するなど、金融市場が動揺しています。他国に直接波及しそうにはないものの、米長期金利上昇で新興国から資金が流出しやすい環境にあることや、ワクチン接種が遅れている国も多いことから、新興国の経済・金融市場が全般的に不安定化する可能性もあります。中国はコロナ禍からいち早く立ち直りましたが、金融・財政政策の正常化に乗り出したことで景気が減速することも考えられます。人権問題等を巡る米欧との対立にも注意が必要です。

4月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(木)	日本 	3月調査日銀短観（全国企業短期経済観測調査）
2日(金)	米国 	雇用統計（3月）
6日(火)		IMF（国際通貨基金）世界経済見通し発表
15日(木)	米国 	小売売上高、鉱工業生産指数（3月）
16日(金)	中国 	1-3月期GDP、鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資（3月）
22日(木)	ユーロ圏 	金融政策発表
27日(火)	日本 	金融政策発表、日銀展望レポート（経済・物価情勢の展望）公表
28日(水)	米国 	金融政策発表
29日(木)	米国 	1-3月期GDP（速報値）
30日(金)	ユーロ圏 	1-3月期GDP（速報値）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
 (出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。